



IDF PRESS RELEASE

Brussels, 13 September 2018

IDFプレスリリース

2018年9月13日、ブリュッセル発

持続可能な酪農乳業が食糧保障を支えて 飢餓と栄養不足の世界を解消する

Helping to free the world from hunger and malnutrition through sustainable dairy to support food security

食糧保障を支える持続可能性の活動を通じて飢餓と栄養不足の世界を解消する、その一助となるのが国際酪農連盟（IDF）の目標です、とIDF事務総長のキャロライン・エモンド氏は語った。

発育期に必要な栄養を提供し、安全、栄養、ヘルシーでバランスのとれた食事をとることが子供の成長にとって重要である。思春期の子供や出産年齢の女性に滋養を確保することも大切です、とエモンド氏は附言した。

同事務総長は、国連食糧農業機関、国際連合世界食糧計画、国際農業開発基金、世界保健機関、国際連合児童基金による「2018年度世界の食糧保障と栄養状況：食糧保障と栄養の耐候性を構築する」と題した報告書の合同出版を称賛した。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の総合ビジョンを達成するために、より強固な多元的パートナーシップ、共同、尽力の結集をサポートする、この点に関して乳および乳製品の多大な貢献をしていると強調した。

「食品、農業、健康および環境を含む業界の垣根を越えた官民のパートナーシップが重要です。食糧保障システムの復元力を強化するアクションプランはこのパートナーシップを通して構築されますが、その決め手は協調性、首尾一貫性です。」とエモンド氏は述べた。

「IDFは世界のパートナーや専門家と手を携えて、乳の安全性と品質の向上に向けて活動します。そのために公衆の栄養と健康を進めるために国際スタンダード（規格）のコンプライアンスを促します。また、栄養保障と食糧保障を守るために酪農乳業界の持続可能性を増進する活動も行います。」

世界中で8億2100万人、または9人に1人が栄養不足状態にあり、しかもアフリカや南米の一部地域が特に悪影響をうけた世界の飢餓が依然として拡大中であると指摘した当報告書にエモンド氏は懸念を表明した。

「乏しい健康や発達の遅れを伴う子供の発育不全は栄養不足が原因となりますが、この栄養不足に対抗する努力を強める必要があります。」とエモンド氏は語気を強めた。「健康的な発育を促す良質なたんぱく質、ビタミンおよびミネラルは、栄養豊かな乳および乳製品から手頃な価格で入手できます。」

完

翻訳：JIDF事務局

編者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。